

牧田総合病院における心臓カテーテル虚血部門立ち上げの経験

坂上 和広¹、櫻井 将之¹、森川 一輝¹、林 かおり¹、畔上 義行¹、後藤 隼人¹、細江 真輝¹

¹牧田総合病院

【目的】当院はこれまで脳神経外科による緊急脳血管カテーテル治療と、循環器内科による不整脈アブレーション治療を主なカテーテル部門として運用してきた。心臓カテーテル虚血部門新規立ち上げにおけるコメディカルスタッフの取り組みについて報告する。**【方法】**心臓カテーテル虚血部門の立ち上げにあたり以下の準備を進めた。・施設見学と環境整備：他施設を見学し、設備、検査室レイアウト、患者動線、緊急時対応などを情報収集し最適なカテーテル検査環境を整備。・医師招聘と指導体制の構築：経験豊富な循環器内科医を招聘し、専門的な指導体制を構築。メディカルスタッフの知識と技術を向上。・チーム医療の推進：多職種連携が不可欠であるため、医師、看護師、診療放射線技師、臨床工学技士、緊密な情報共有と連携強化を図った。**【総括】**牧田総合病院における心臓カテーテル虚血部門の立ち上げは、地域医療への貢献を目指す当院にとって画期的な一歩となった。施設見学に基づく環境整備、経験豊富な循環器医師の招聘と指導体制の構築、そして多職種連携によるチーム医療の推進が、安全かつ質の高い心臓カテーテル治療提供の基盤を築いた。今後は脳血管疾患や不整脈治療に加え、心臓虚血性疾患にも対応できる地域の中核病院として、患者さんへより包括的な医療を提供できるよう部門のさらなる発展に努める。